

平成22年度 富谷町 決算報告

平成22年度決算が、平成23年第3回富谷町議会定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた税金が、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているかお知らせします。
問財政課 財務担当 (0358-0619)

一般会計決算の状況

歳入：122億7,723万円
歳出：105億6,944万円
実質収支：2億938万円

平成22年度の一般会計の決算は、歳入122億7,723万円、歳出105億6,944万円となり、前年度より歳入18.7%、歳出9.3%の増加となっています。

また、歳入と歳出の差引額から、平成23年度に繰り越した事業に必要な財源14億9,841万円を差し引いた実質収支は、2億938万円の黒字となっています。この黒字分は、平成23年度の事業に充てるほか、平成23年度以降に町のお金が不足する場合の貯金として、基金に積み立てました。

特別会計決算

会計	収入済額	支出済額
老人保健	169万円	169万円
国民健康保険	33億2,307万円	31億4,994万円
下水道事業	8億6,684万円	7億9,883万円
介護保険	14億2,178万円	13億8,232万円
介護サービス事業	0万円	0万円
後期高齢者医療	1億7,817万円	1億7,717万円

水道事業会計決算

会計	収入済額	支出済額
収益的収支	10億6,127万円	10億818万円
資本的収支	1,945万円	1億4,456万円

特別会計決算・ 水道事業会計決算 の状況

特定の事業を行うために一般会計とは別に計上される会計を特別会計といいます。平成22年度においては、各会計とも黒字決算となりました。

町の水道事業会計は、安全でおいしい水道水を安定して供給するために、水道施設の維持管理等を計画的に行っています。

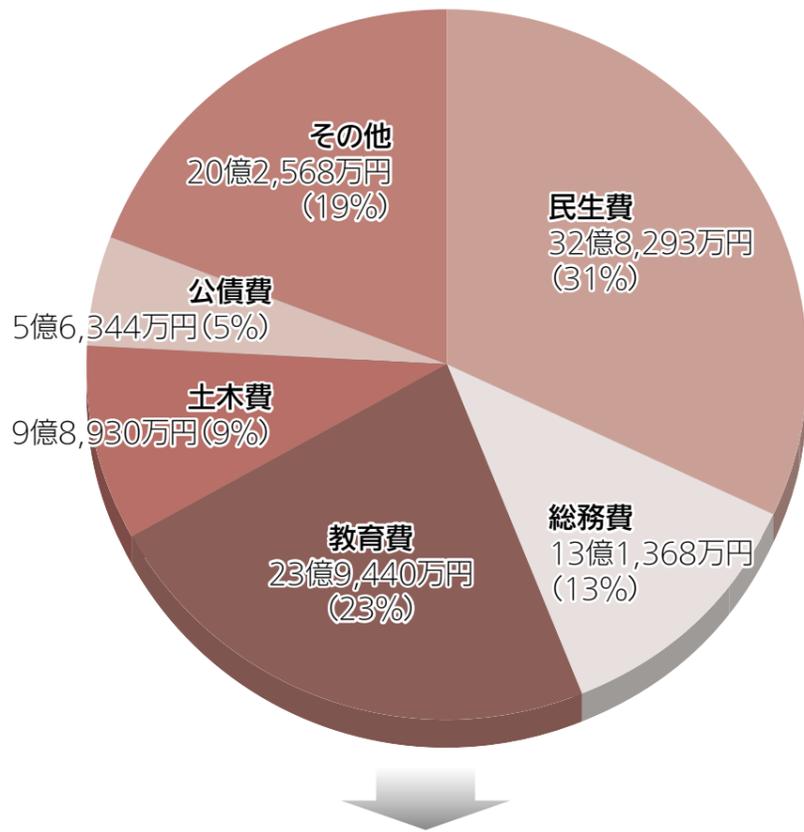
一般会計 歳出 105億6,944万円

町では、これからも、皆さんに納めていただいた大切な税金などを無駄なくやりくりし、効果的・効率的な行財政経営に努めます。

※P22～25で平成22年度に実施した主な事業を紹介しています。

用語解説

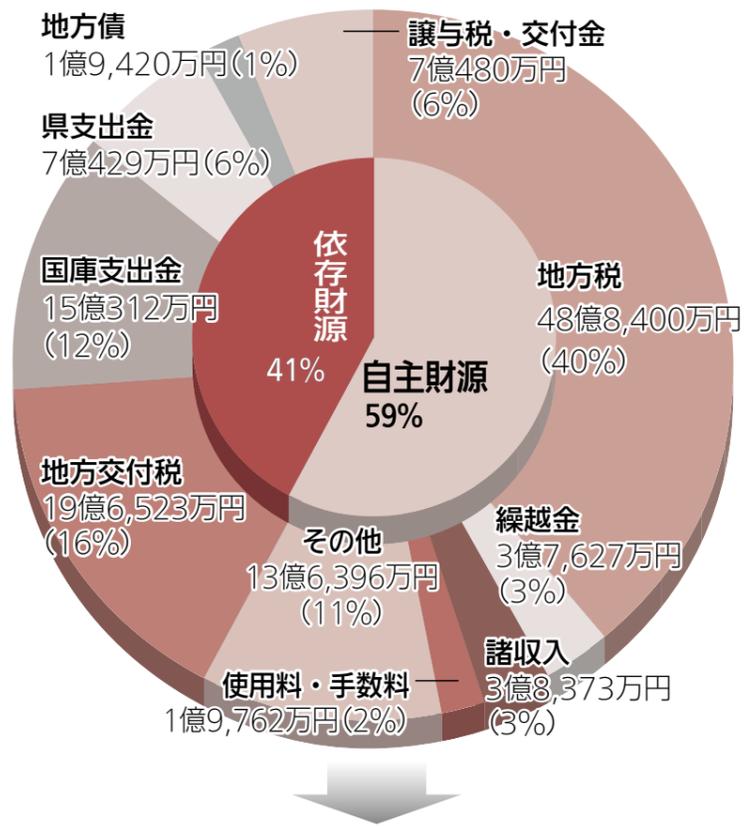
- 民生費**
児童・高齢者・障害者福祉、医療費助成など福祉全般の経費です。
- 教育費**
小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。
- 総務費**
防犯、交通安全、町民バスの運行などの経費です。
- 土木費**
道路の管理や改良、町営住宅、公園管理などの経費です。
- 公債費**
町が借りたお金やその利子を返還するための経費です。
- その他**
衛生費、消防費、議会費などの経費です。



町民1人あたりに換算すると 21万9,739円

民生費	6万8,252円	土木費	2万568円
教育費	4万9,780円	公債費	1万1,714円
総務費	2万7,311円	その他	4万2,114円

※H23.3.31末現在の住民基本台帳人口48,100人で算出しています。



町民1人あたりに換算すると 25万5,244円

町税	10万1,538円	地方債	4,037円
国・県支出金	4万5,892円	繰入金	2万6,213円
地方交付税	4万857円	その他	3万6,707円

※H23.3.31末現在の住民基本台帳人口48,100人で算出しています。

一般会計 歳入 122億7,723万円

■自主財源 72億558万円 (59%)

町税や使用料など、町が自らの意思で得たお金のこと。この自主財源が多いと町の予算にゆとりが生じ、各種の施策を展開できます。

■依存財源 50億7,164万円 (41%)

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金のこと。

用語解説

- 町税**
皆さんが町に納めた税金（町民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- 地方交付税**
全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- 国・県支出金**
国や県が使いみちを決めて交付するお金です。
- 繰越金**
平成21年度から平成22年度歳入へ持ち越された決算剰余金です。

教育委員会 生涯学習課

拡 十三夜 魂のふるさとまつり運営事業 …… 750万円
4回目となる「十三夜 魂のふるさとまつり」は「町民47,000人総参加のまつり」をコンセプトに開催しました。町の活性化とあったかな交流の場として、町内外に着実に広がりを見せ、多くの来場者で賑わいました。



拡 町民体育祭事業 …… 241万円
第47回町民体育祭は猛暑の中、参加者、応援者も含め6,000人の町民が集い、健康づくりをはじめ、地域を越えた交流が図られました。

拡 総合運動公園・維持管理事業 …… 5,433万円
総合運動公園の維持管理業務員として臨時職員2名を雇用し、総合運動公園維持管理の強化を図り、また、施設の改修を行うなど安全かつ利便性の向上に努めた。

福祉部 健康増進課

拡 感染症予防事業 …… 7,677万円
新型インフルエンザ対策として、全町民を対象に予防接種費用の一部助成を行い、感染防止に努めました。また、子宮頸がん対策として、国の基準を拡大し、中学1年生から高校3年生の女子を対象に、ワクチン接種費用の全額助成を行い、子宮がん予防に努めました。

拡 住民健診事業 …… 1億 560万円
30歳代を対象とした健康診査「健幸30」や各種がん検診、脳検診を実施し、健康管理の一翼を担いました。また、「女性特有のがん検診」については、対象者に無料クーポン券を郵送し、受診勧奨に努めました。

拡 健康寿命延伸事業 …… 96万円
健康づくりの意識向上を図るため、健幸セミナーを実施したほか、第3回目となる「さあ！歩効果ウォーキング大会」では、運動の直接的効果を実感する機会に加え、地域交流、地産地消の推進、歴史探訪など多目的な大会として実施しました。



拡 高齢者教育事業（公民館6館） …… 170万円
平成21年度から2年次体制を採用し、2年目の充実期を迎えた「とみや豊壽大学」では、1年目より一歩踏み出した学習内容に取り組み、受講生の学習意欲の高まりと受講生同士の交流を図りました。



拡 西成田コミュニティセンター運営・維持管理事業（改修工事を含む） …… 4,421万円
平成21年度に引き続き西成田コミュニティセンター改修工事を行い、町民の交流・学び・憩いの場と、子育て支援の提供、また、自然体験活動等もできる環境を整備しました。



福祉部 長寿福祉課

拡 障害者自立支援給付事業 …… 2億4,727万円
障害者の就労を支援するため、就労支援施設「夢の風とみや」を整備し、配食事業や清掃訓練などの自立活動を支援しました。

拡 敬老祝い事業 …… 3,629万円
地域で主催する敬老行事へ助成するあったか・ほっとな地域づくり事業を実施しました。また、80歳以上の方に対して敬老祝い金をお贈りしました。



拡 高齢者在宅生活支援事業 …… 1,452万円
高齢者やその家族の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるように生活支援および介護予防・生きがい活動の支援を行いました。

拡 介護施設整備補助事業 …… 882万円
認知症のグループホーム2箇所にスプリンクラーを設置し、安心・安全な生活を送れるよう支援しました。

平成22年度に実施した まちの主な仕事

「富谷町総合計画」の3つの将来像に沿って、平成22年度に実施した主な事業を紹介します。

新：新規事業 拡：拡大事業



平成23年2月、人口が4万8千人に到達しました。5万人都市目指したまちづくりを進めています。

将来像 1

子どもたちのための教育環境と未来を創り出すまち すべての世代が生き生きと暮らせるまち

未来の富谷を担う子どもたちへの教育の充実

学び続けることのできる環境の整備

安心して子育てのできる環境の整備

誰もが健康で生き生きと生活できる環境づくり

教育委員会 学校教育課

新 学校給食センター整備事業 …… 2億5,171万円
児童・生徒数の増加、および施設の老朽化に対応するため、7,000食規模の新学校給食センターの新築工事に着手しました。



拡 町立小学校運営・維持管理事業 …… 1億5,977万円
小学校7校の運営・管理費です。小学校における外国語活動が次年度より本格導入されることに伴い、ALTの効果的な活用に向けて直接雇用による配置としました。

拡 町立中学校運営・維持管理事業 …… 1億1,856万円
中学校5校の運営・管理費です。学校における支援体制を強化するため、特別支援教育支援員を配置し、学習支援・生活支援等の強化を図りました。

拡 中学校強化ガラス改修事業 …… 2,413万円
安全で安心な教育環境の改善を図るため、富谷第二中学校と東向陽台中学校の強化ガラスの改修工事を行いました。

拡 中学校トイレ改修事業 …… 3,098万円
富谷第二中学校のトイレを洋式にする改修工事を行いました。

新 成田中学校校舎増築工事 …… 4億2,331万円
生徒の著しい増加に対応するため、校舎を増設し、安全で安心な教育環境の整備を図りました。



新 中学校暗渠等整備事業 …… 5,697万円
校庭の排水不良を改善するため、東向陽台中学校校庭の暗渠排水工事を行い、校庭を十分に活用できる環境を整備しました。

福祉部 子育て支援課

拡 保育所運営・維持管理事業 …… 3億6,713万円
町内4保育所の運営・管理費です。町立保育所に経験豊かな副所長を配置し、保育環境の充実と保育の質の向上を図りました。

拡 認可保育所運営事業 …… 2億6,786万円
町内2園の運営管理費です。子育て環境の整備を図るため、認可保育所の増築や定員枠を増やし、待機児童解消に努めました。

拡 認可外保育所運営費補助事業 …… 1,947万円
認可外保育所への運営費補助および認可外保育所へ通園する家庭の経済的負担の軽減を図るため、保育料の一部を助成する新制度を施行しました。

拡 妊婦支援事業 …… 3,961万円
母子手帳交付を全例専門職である保健師と助産師による保健指導を含めた交付に変更し、安全安心な出産に向け、きめ細かな指導助言に努めました。

将来像 3

町民と町が直接つながる あったかいまちづくり

住民との協働によるまちづくり

効果的・効率的な行政運営



町民の皆さんとまちづくりについて話し合う「あったかふれあいトーク」

総務部 総務課

拡 町内会館整備事業 7,292万円
地域の自主的・主体的な活動の場として、富ヶ丘南部会館の新築工事と、東向陽台第二会館の改修工事を行いました。



富ヶ丘南部会館

新 国勢調査事業 1,451万円
実施本部とプロジェクトチームを設置し、円滑な調査事務の実行と正確な調査結果が得られるように実施体制を強化しました。また、「調査票の記入のしかた ダイジェスト版」の作成、調査員の接遇向上を目指した研修会の開催など、町民の皆さんが分かりやすく安心して調査票を記入できるような取り組みを実施しました。

拡 自治振興事業 1,407万円
44行政区への活動補助金を交付しました。また、年4回の行政区長会議を通して、各地域の課題を共有し、行政サービスの充実を図りました。

企画部 経営企画課

拡 企画調整事務 583万円
映画「エクレール・お菓子放浪記」の制作と富谷ロケを支援するため、十三夜「エクレールお菓子放浪記」を応援する会を運営し、富谷町の魅力発信に努めました。

拡 行政情報紙発行事業 1,054万円
「広報とみや」を発行し、タイムリーに町の施策や家庭向けの情報などを広く町民の皆さんに提供し、積極的に町政参加を促進しました。



企画部 財政課

拡 公有財産維持管理事業 1億1,874万円
役場庁舎や町所有の土地など、点検・整備等によって適切な維持管理に努めました。

総務部 税務課

拡 納税意識高揚・収納率向上事業 1,988万円
納期内納付の推進や滞納額の削減に努めました。

将来にわたり安定的な行政経営を行えるよう 健全な財政運営に努めています

●健全化判断比率・資金不足比率

富谷町はすべての指標において基準をクリア。健全な財政運営を行っています。

○健全化判断比率

区分	富谷町	基準	内容
実質赤字比率	—	13.82	一般会計の実質赤字額と標準財政規模に対する比率。
連結実質赤字比率	—	18.82	すべての会計の実質赤字額と標準財政規模に対する比率。
実質公債費比率	0.3	25.00	公債費・公債費に準じた経費と標準財政規模に対する比率。
将来負担比率	—	350.0	地方債の残高のほか、将来負担すべき実質的な負債と標準財政規模に対する比率。

※標準財政規模…地方公共団体が通常水準の行政活動を行う上で必要な一般財源の総量。

○資金不足比率

富谷町の公営企業会計（水道事業、下水道事業）は、資金不足比率が算定されませんでした。

健全化判断比率と資金不足比率は、自治体の財政健全化度を判断する新たな指標です。基準を超えた場合は、一般会計のほか特別会計や公営企業会計なども含めた財政健全化への取り組みが必要となります。

将来像 2

豊かな自然環境と活力ある地場産業を 自慢と誇りにできるまちづくり

企業誘致による新たな就業の場の提供

地域資源を活かした魅力の向上

“居住の場”として選択されつづけるための環境づくり

安心して生活できる環境づくり

企画部 産業振興課

拡 労働雇用対策事業 1,501万円
公益社団法人富谷町シルバー人材センターと連携協力し、子育てサロン「ほっと育く」、高齢者就業事業等の支援を行い、高齢者層を対象に地域貢献や福祉の増進を図りました。

拡 企業誘致事業 259万円
「高屋敷地区」「成田二期北地区」が工業用地に位置づけられたことを機に、国道4号沿線である高屋敷地区に「富谷町工業団地立地募集中」の看板を設置しました。また、企業誘致パンフレットを作成し、企業立地セミナー等で配布し、PRに活用しました。



建設部 都市整備課

拡 道路維持管理事業
○除草・樹木剪定・除融雪等 1億5,048万円
○太子堂地区道路整備 1,578万円
○東向陽台地区側溝整備 2,468万円
○富ヶ丘地区側溝整備 4,609万円

拡 道路改良事業
○穀田地区（町道穀田線） 7,893万円
○富谷地区（仏所太子堂中線） 2,192万円
○大亀地区（町道沼田線） 3,536万円



改良後の町道沼田線

拡 清水沢・宮ノ沢住宅建替事業 3,620万円
宮ノ沢住宅10棟20戸を建て替えるための造成工事を実施しました。
※当事業は震災の影響により平成23年度へ繰り越しています。



拡 ブルーベリー産地拡大事業 199万円
町の特産品であるブルーベリーの栽培にあたり、苗木の新植・補植および栽培資材の助成事業を行い栽培面積の拡大を図りました。また、ブルーベリーの販路拡大および町内外へのPRを目的として「とみやブルーベリースイーツフェア」を初めて開催しました。



拡 農業振興事業 1,557万円
野菜栽培農家の増加、栽培量の拡大を支援するため、ビニールハウス設置工事費の2/3の助成を行いました。また、町内の大型店舗内に直売コーナーを設置し販売促進に繋げるため、店舗側との積極的な要望と協議を行い、設置を実現しました。

総務部 総務課

拡 消防団員設置・運営事業 1,487万円
貸与年数が20年を経過した消防団三ノ関班の小型動力消防ポンプを更新し、迅速な消火活動につながるよう整備を図りました。

拡 防災用備蓄物品等整備事業 486万円
東向陽台公民館に19箇所目となる防災用備蓄倉庫を設置し、災害における町内南部地区の強化を図りました。



総務部 町民生活課

拡 リサイクル推進事業 839万円
分別収集による資源化および粗大ごみからの分別資源化に努めるとともに、新たな取り組みとして、富ヶ丘地区と鷹乃杜地区をモデルに廃食用油の「バイオディーゼル燃料（BDF）」としての活用を目指し、試験回収事業を実施しました。